

【管内の感染症の発生状況等について】

- 管内の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の定点当たり報告数は減少傾向で推移しており、第20週では0.00となっています。
- 管内のインフルエンザの定点当たり報告数は第19週に0.14となり、低い値で推移しています。（管内の定点当たり報告数は別表グラフを併せてご覧ください。）
- 管内の感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第20週に4.75となり、県の定点あたりの報告数より高い値で推移しています。県内施設等における感染性胃腸炎の集団発生報告が続いているため、注意が必要です。

○ 主な感染症の定点当たり報告数（1医療機関当たりの平均報告数）

報告週	COVID-19		インフルエンザ		水痘		感染性胃腸炎		RSウイルス		咽頭結膜熱	
	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県
17週 (4/20~4/26)	0.43	0.88	0.00	0.43	0.50	0.27	4.00	4.68	0.25	0.35	0.50	0.27
18週 (4/27~5/3)	0.57	0.85	0.00	0.24	0.00	0.22	5.25	4.95	0.00	0.35	0.00	0.19
19週 (5/4~5/10)	0.29	0.48	0.14	0.15	0.00	0.30	2.25	2.68	0.00	0.14	0.00	0.22
20週 (5/11~5/17)	0.00	0.37	0.00	0.06	0.00	0.08	4.75	3.30	0.00	0.11	0.50	0.46

○ 全数把握感染症の発生届（管内）

報告週	二類感染症	三類感染症	四類感染症	五類感染症
17週 (4/20~4/26)	-	-	-	-
18週 (4/27~5/3)	結核 2件	-	-	-
19週 (5/4~5/10)	-	-	-	-
20週 (5/11~5/17)	結核 2件	-	レジオネラ症 1件	百日咳 2件

★ 茨城県感染症流行情報週報（2026年第20週）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/weekly/documents/2026idwr20.pdf>

★ 茨城県感染症流行情報月報（2026年4月号）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/std/documents/2026mrp04.pdf>

★ 茨城県衛生研究所における病原体検出情報（2026年4月号）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/microbe/documents/202604kensyutu.pdf>

★ インフルエンザ流行情報（2025-2026シーズン）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/2025-2026.html>

★ 茨城県感染症発生動向調査事業年報（2024年）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/nennpou2024.html>

【はしか（麻疹）に注意】

- 全国における2026年第17週時点の累積報告数は436例となり、直近5年間の同時期で最も多い報告数となりました。このうち74%が関東地域からの報告です。学校や施設等、多くの人が集まる場所での感染事例が報告されており、複数の自治体から注意喚起が行われています。
- 5月9日、11日に、県内ではしか患者2例が確認され、2026年の累積報告数は5例となりました。
- はしかは空気・飛沫・接触感染する、感染力が極めて強いウイルス感染症です。感染すると約10日後に発熱、咳、鼻水、目の充血などの風邪のような症状が現れます。発熱や発疹のある方と接触した1～2週間後や海外渡航後に、はしかが疑われる症状が出現した場合には注意が必要です。
- 医療機関におかれましては、発熱や発疹を呈する患者が受診した際は、はしかの予防接種歴や海外渡航歴の確認等、はしかの発生を意識した診療を行っていただくとともに、はしかが疑われる患者を把握した場合には、院内での感染対策に配慮しつつ保健所へご相談いただきますようお願いいたします。

★ 麻疹（はしか）（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html

★ はしか（麻疹）に注意しましょう（茨城県）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/measles2.html>

【ダニ媒介感染症に注意】

- ダニ媒介感染症とは、病原体を保有するダニに刺されることで感染する感染症です。主に、つつが虫病、日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）があります。
- マダニ類の多くは、ヒトや動物に取り付くと、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、長時間吸血しますが、刺されたことに気が付かない場合も多いと言われています。吸血中のダニに気が付いた際、無理に引き抜こうとするとダニの一部が皮膚内に残って化膿したり、体液を逆流させてしまったりするおそれがあるので、医療機関で処置をしてもらうようにしましょう。また、ダニに刺された後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は速やかに医療機関を受診しましょう。
- 野外作業、農作業、キャンプ等のレジャー活動で山林や草むらに立ち入ると、ダニに刺されることがあります。ダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖・長ズボン（シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる、または登山用スパッツを着用する）、足を完全に覆う靴（サンダル等は避ける）、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大切です。

★ ダニ媒介感染症（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

★ ダニ媒介感染症に注意しましょう（茨城県）

https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/tick-borne_disease.html

【HIV検査普及週間について】

- 毎年6月1日から7日は、厚生労働省によりHIV検査普及週間と定められ、今年度においても各地で普及啓発イベント等が実施されます。
- 筑西保健所では、毎週水曜日に事前予約制で性感染症検査を実施しています。差別や偏見をなくし、性感染症に対する予防・対応方法について正しい知識を持つことが大切です。

★ 性感染症（HIV・クラミジア・梅毒）について（筑西保健所）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/chikuho/hoken/shimohc/sodan/sodan-aids.html>